

在籍15年表彰を受けて

根岸 全国

この度、在籍15年表彰を頂くことになり、誠にありがとうございます。

思い起こすと、シルバー人材センターへ入会申込みに伺ったところ、ヘルパー2級講習会の受講を勧められました。資格取得後、数回応援作業をしました。ひまわり福祉部会の健康体操応援にも参加させて頂きました。そして、ふなしめじ栽培の補助、キノコ駒打ち・仮伏せ作業を2、3年させて頂きました。その後、シルバーでの襖張り替え講習を受け、先輩のご指導、会員の皆さんのお力添えを受け、襖・障子の預かりから張り替え納品まで、行えるようになりました。

事務局の皆様の努力と会員の皆様のお力添えにより、町中から仕事の依頼を頂き、好きな仕事をできること、多くの方、いろいろな方と出会えたことにも、感謝いたします。

いずれにしても、創意工夫が大切だと思いますが、いましばらくは、この仕事に携わって行けた

らと思います。

これからも、どうぞよろしくお願いたします。

在籍10年を迎えて

金子 恵子

早10年、最初の仕事は幼稚園バスの添乗員として可愛い子供達のお迎えでした。

春は桜の花に続きポピーが色鮮やかに咲き、朝からとても明るい気分になり、バスの中も賑やかで園でも鉄棒、砂遊び、自転車乗りなどで、かわいいパワーを沢山いただきました。

その後、皆野病院でヘルパーの仕事しながら農林センターでの刈払機の講習会も受講しました。病院での仕事は、お風呂介助など色々です。患者さんの事故にもつながりかねない事もあるので、気を使いますが、色々な患者さんがいるので勉強にもなり、楽しく明るく接しようと思っています。最近ではコロナも5類になり家族の方も面会に来られ、患者さんの笑顔も増えたように感じられます。仲間とも楽しく仕事をさせて頂いているので、もう少し頑張れるかなと思ったりしています。

事務局の大岡さんにもお世話になりました。ありがとうございます。シルバー人材センターの益々の発展をお祈りいたします。

仕事を通じて感じたこと

「正月飾り事業の裏側」

茂木 勉

私が正月飾り事業にお世話になったのは、令和3年の青田刈りからです。

作業の最初は藁の生産。6月に田植え、8月中旬に稲刈りをします。刈った稲は、長生荘の駐車場一杯に並べて乾燥させ、その後、9月末まで室内で乾燥させます。稲は京都から「神丹穂（かんにほ）」と言う稲を取り寄せました。

10月から正月飾り制作に入ります。作業は①藁束作り②しめ縄作り③五宝締め作り④その他のお飾り作りが11月末迄続き、12月になると⑤門松作り（受注生産）と販売に入ります。令和3年は15品目2678点、令和4年は13品目1926点を作りました。

この事業でどれだけ採算が取れるかは、ベテランの技能に掛かっています。例えば、私は5mのしめ縄を編むのに日に5本がやっと

ですが、ベテランの皆さんは20本近く編むことが出来ます。その先輩たちを見て「難しい仕事でも努力と工夫で技を磨いている」そんな姿が印象的です。

販売は長生荘・JA皆野・JA秩父・龍勢会館の4拠点。販売所には、多くのライバルのお正月飾りが所狭しと陳列されています。その中で一番目を引くのがシルバー人材センターの正月飾りです。こだわりの「神丹穂」が一層見栄えを良くして、2年連続の完売に貢献しています。

今年も6月10日に田植えが終わり、正月飾りのスタートです。皆さんが良い年を迎えられることを祈念しながら頑張っていきたいと思っています。

